

製品名: ヌクレオリン (7Z11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14956**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:2000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	NCL
別名	NCL; Nucl; Nucleolin; Protein C23;
遺伝子 ID	4691.0
SwissProt ID	P19338
免疫原	ヒトヌクレオリンの合成ペプチド

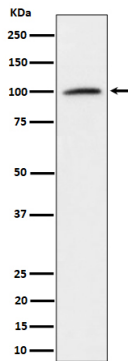
背景

ヌクレオリンは、成長中の真核細胞の主要な核小体タンパク質です。核小体内クロマチンおよびプレリボソーム粒子と関連して存在し、ヒストン H1 に結合してクロマチンの脱凝縮を誘導します。ヌクレオリンは、成長中の真核細胞の主要な核小体タンパク質です。核小体内クロマチンおよびプレリボソーム粒子と関連して存在し、ヒストン H1 に結合してクロマチンの脱凝縮を誘導します。プレ rRNA 転写およびリボソームの組み立てに関与していると考えられています。転写伸長のプロセスにも関与している可能性があります。5'-UUAGGG-3'リピートを持つ RNA オリゴヌクレオチドは、テロメアの本鎖 DNA の 5'-TTAGGG-3'リピートよりも強く結合します。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



K562 細胞溶解物中のヌクレオリンの発現のウエスタンブロット分析。